

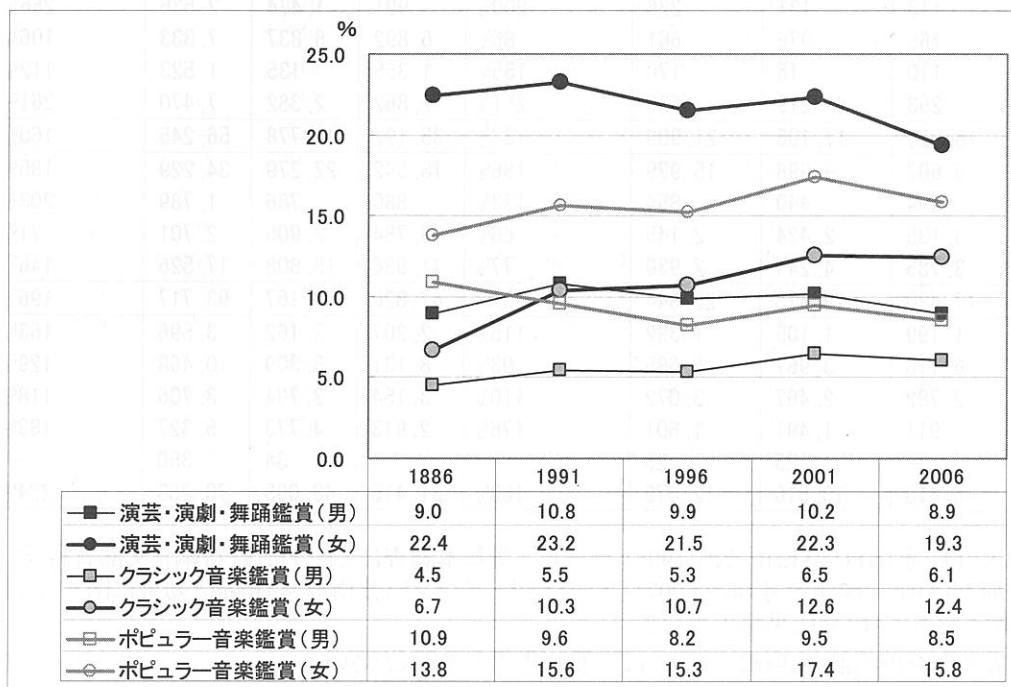
【図表 2-1】自主事業予算と自主事業本数の関係(2005 年)

	5,000 未満	5,000 ～10,000	10,000 ～50,000	50,000 ～100,000	100,000 以上	計
1-4 本	136	83	41	1	1	262
5-9 本	44	69	155	1	0	269
10-14 本	12	13	108	13	1	147
15-19 本	2	5	54	11	1	73
20-29 本	4	2	53	21	7	87
30 本以上	0	1	31	30	33	95
合計	198	173	442	77	43	933

(出所(社)全国公立文化施設『全国調査集計表』(2006)より作成)

※全国 978 館中、事業数を記載していない施設が 36 館、総支出額を記載していない施設が 9 館ある(表に含まれない)

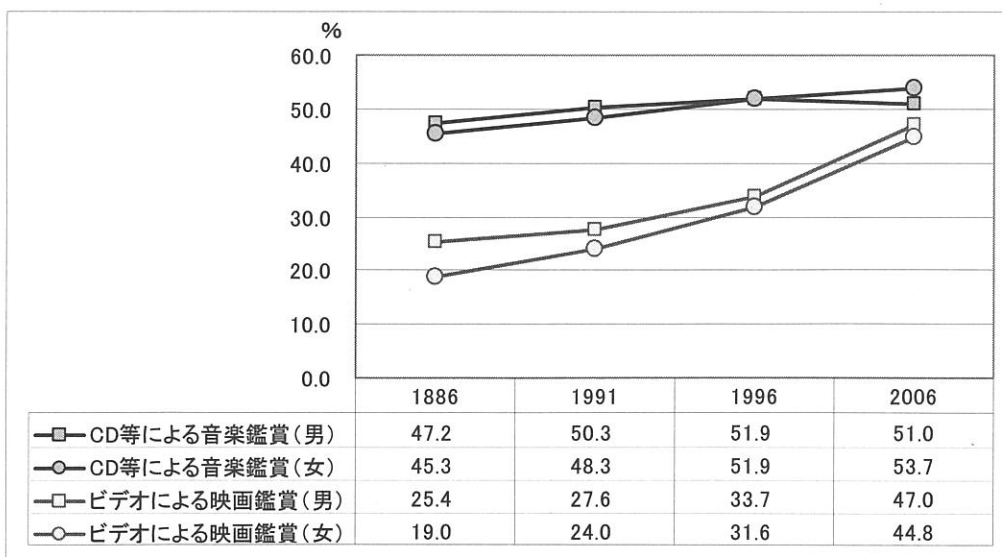
【図表 2-2-1】鑑賞行動者率<ライブ>



(出所『社会生活基本調査』より作成)

※1886 年の調査では舞踊と演劇がわかれていたが、ここでは後年と揃えて合計値を示してある。

【図表 2-2-2】鑑賞行動者率<メディア>



(出所『社会生活基本調査』より作成)

【図表 2-3】サービス業基本調査の再集計による詳細分類に基づく文化芸術関連産業の諸指標

産業詳細分類	事業所数				従業者数			
	1989 年	1994 年	2004 年	89/04 年比	1989 年	1994 年	2004 年	89/04 年比
劇場・興行場	316	268	242	77%	11,382	8,538	5,854	51%
劇場	90	135	64	71%	2,431	3,154	1,975	81%
興行場	169	87	121	72%	7,900	4,844	2,847	36%
その他	57	46	57	100%	1,051	540	1,032	98%
興行団	1,581	1,672	2,018	128%	20,094	15,989	26,390	131%
劇団	150	156	146	97%	3,318	2,995	3,121	94%
楽団・舞踊団	92	121	37	40%	2,829	1,988	2,625	93%
(うち楽団)	69	97	18	26%	2,094	1,703	1,305	62%
その他の興行団	1,339	1,395	1,835	137%	13,947	11,006	20,644	148%
芸能興行団	97	55	141	146%	1,838	178	1,782	97%
スポーツ興行団	113	131	226	200%	991	1,474	2,536	256%
プロダクション	765	976	661	86%	6,892	6,837	7,333	106%
幹旋	110	15	170	155%	1,365	135	1,523	112%
その他	253	219	636	251%	2,862	2,382	7,470	261%
音楽個人教授所	16,020	17,106	21,909	137%	35,192	41,778	56,245	160%
洋楽(ビ・7・エレクトーン)	8,607	9,998	15,979	186%	18,542	22,279	34,229	185%
洋楽(その他)	494	440	854	173%	880	786	1,789	203%
邦楽	3,135	2,424	2,145	68%	3,784	2,905	2,701	71%
その他	3,785	4,244	2,930	77%	11,986	15,808	17,526	146%
その他の個人教授所	17,420	19,573	23,844	137%	47,820	63,167	93,717	196%
絵画	1,199	1,105	1,382	115%	2,207	2,162	3,596	163%
手工芸・その他	6,118	3,967	5,685	93%	8,131	5,309	10,468	129%
日舞	2,782	2,467	3,072	110%	3,154	2,794	3,706	118%
洋舞	911	1,491	1,601	176%	2,913	4,773	5,327	183%
演劇(*3)	—	25	25	—	—	34	358	—
その他	6,410	10,518	12,079	188%	31,415	48,095	70,263	224%

1989 年の結果については、永山貞則・松田芳郎(1996)「サービス業基本調査による分析[資料編]」文部省科学研究費補助金(総合研究(A)研究課題番号 05306007)「アートマネジメント(芸術経営)機能と効果に関する総合研究」(研究代表者守屋秀夫)研究成果報告書など。

*なお、サービス業基本調査再集計の詳細については別冊報告書を参照ください。

うち常用雇用者数				事業支出(百万円)			一事業所あたり事業支出(百万円)		
1989 年	1994 年	2004 年	89/04 年比	1989 年	1994 年	2004 年	1989 年	1994 年	2004 年
5,890	6,700	4,721	80%	145,552	154,382	127,306	460.2	576.1	525.5
1,955	2,446	1,764	90%	41,391	78,675	58,338	457.9	582.8	914.1
2,971	3,824	1,973	66%	92,364	70,233	53,143	547.7	807.3	437.7
964	430	984	102%	11,797	5,474	15,825	206.0	119.0	277.6
13,726	12,191	20,458	149%	311,336	364,541	615,476	196.9	218.0	305.0
2,294	2,295	2,592	113%	31,743	17,048	62,512	211.0	109.3	428.8
2,198	1,798	2,549	116%	26,966	34,165	35,823	293.1	282.4	967.4
1,636	1,549	1,279	78%	15,921	25,748	17,036	231.8	265.4	949.0
9,234	8,097	15,317	166%	252,627	313,328	517,142	188.7	224.6	281.8
1,279	96	1,282	100%	9,707	984	45,739	100.1	17.9	323.3
778	1,198	1,870	240%	43,116	73,388	106,105	380.7	560.2	469.0
4,654	4,902	5,540	119%	107,306	183,261	162,655	140.2	187.8	246.1
552	111	914	166%	21,435	4,831	18,826	195.0	322.1	110.7
1,971	1,790	5,711	290%	71,062	50,864	183,817	280.4	232.3	288.9
12,378	24,198	23,429	189%	50,576	79,196	101,527	3.2	4.6	4.6
6,848	12,660	12,523	183%	24,745	32,403	41,895	2.9	3.2	2.6
170	316	587	346%	971	1,444	3,459	2.0	3.3	4.0
291	326	352	121%	3,151	2,500	5,153	1.0	1.0	2.4
5,070	10,896	9,966	197%	21,709	42,850	51,019	5.7	10.1	17.4
18,339	37,650	57,047	311%	148,477	228,227	621,048	8.5	11.7	26.0
379	515	1,426	376%	2,528	2,006	18,384	2.1	1.8	13.3
912	771	2,943	323%	9,256	5,832	29,079	1.5	1.5	5.1
131	48	338	258%	2,794	2,281	5,170	1.0	0.9	1.7
983	2,386	2,916	297%	4,862	12,865	24,444	5.3	8.6	15.3
—	0	311	—	—	—	4,185	—	0.0	166.5
15,934	33,931	49,114	308%	129,037	205,158	539,787	20.1	19.5	44.7

■芸術団体・劇場を対象にしたアンケート調査とその分析

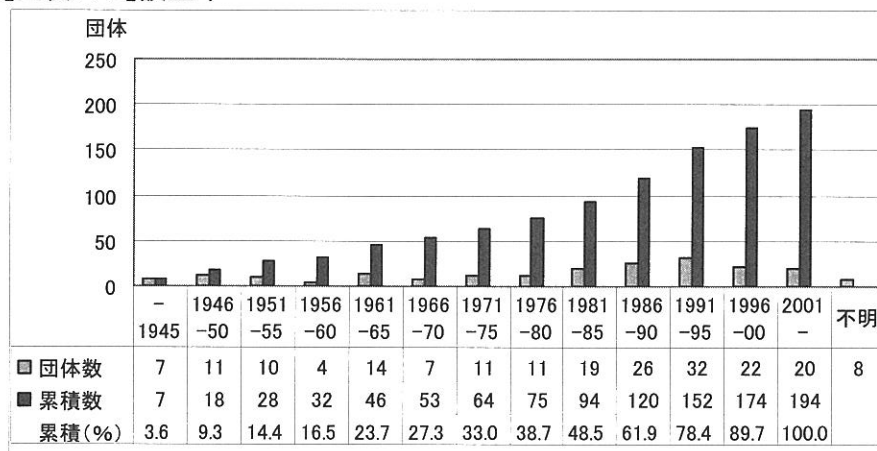
A. 団体基礎情報

【図表 A-1】法人格（有効回答 202）

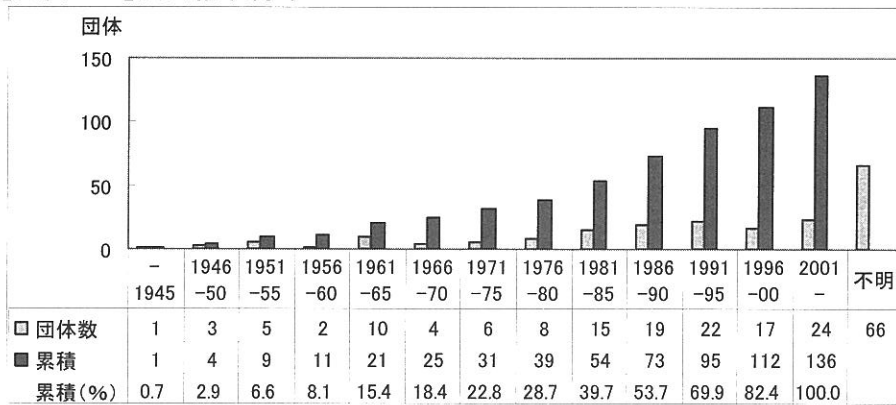
営利法人 51団体 (25.2%)		非営利法人計 86団体 (42.6%)			法人格なし 56団体 (27.7%)	その他※
株式会社 24団体	有限会社 27団体	財団法人 65団体	社団法人 9団体	特定非営利活動法人 12団体	任意団体 49団体	個人事業主 7団体
11.90%	13.30%	32.10%	4.40%	5.90%	24.30%	3.50%
						6団体 3.00%

※「その他」と回答した団体のうち、6つは地方公共団体、1つは有限責任中間法人

【図表 A-2】設立年



【図表 A-3】法人格取得年

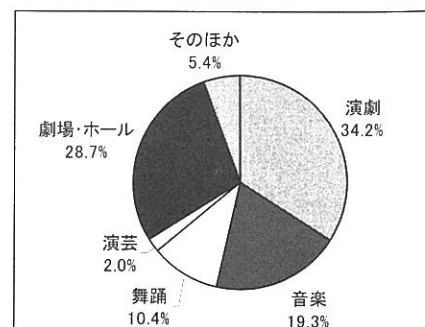


【図表 A-4】分野（重複回答を含むのべ回答数 226）

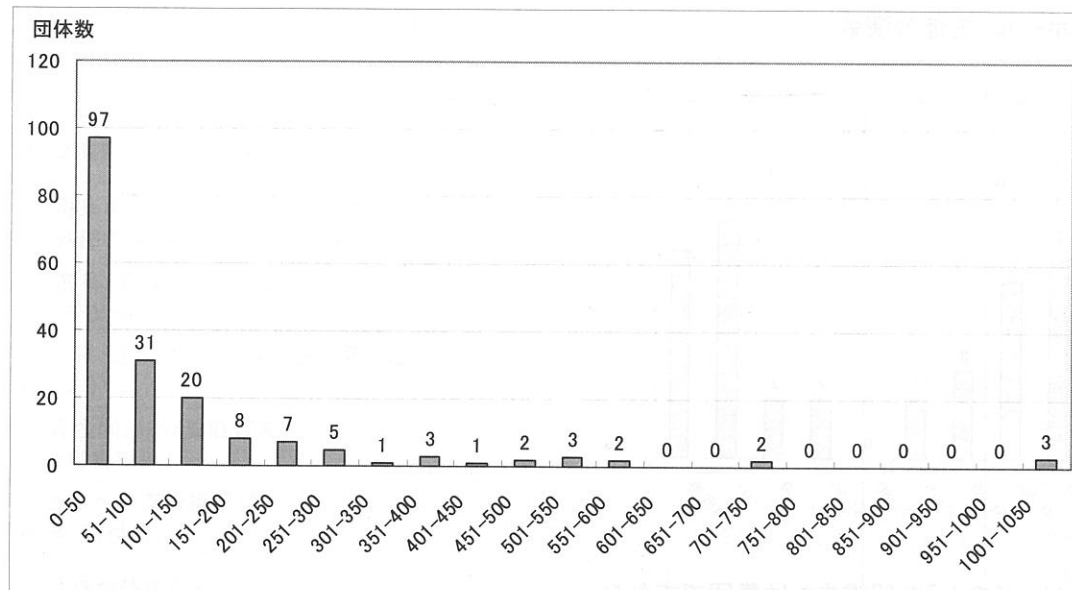
演劇	音楽	舞踊	演芸	劇場・ホール	その他	無回答
75	44	25	7	56	18	1
37.1%	21.8%	12.4%	3.5%	27.7%	8.9%	0.5%

【図表 A-5-1】分野（重複回答を排除した 202 団体）

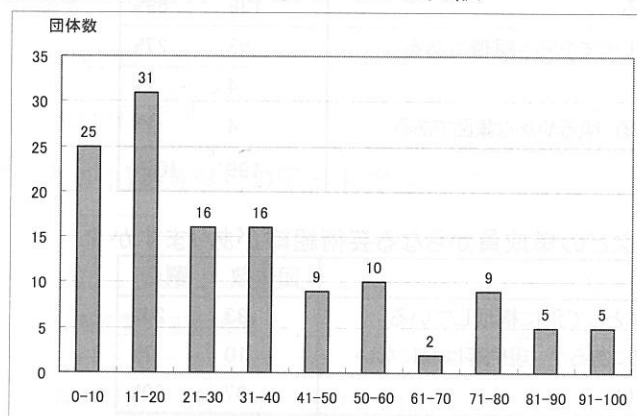
演劇	音楽	舞踊	演芸	劇場・ホール	その他
69	39	21	4	58	11
34.2%	19.3%	10.4%	2.0%	28.7%	5.4%



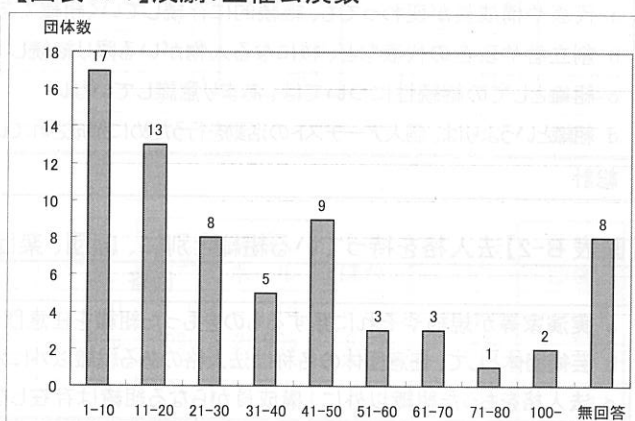
【図表 A-6-1】ステージ数別団体数累計



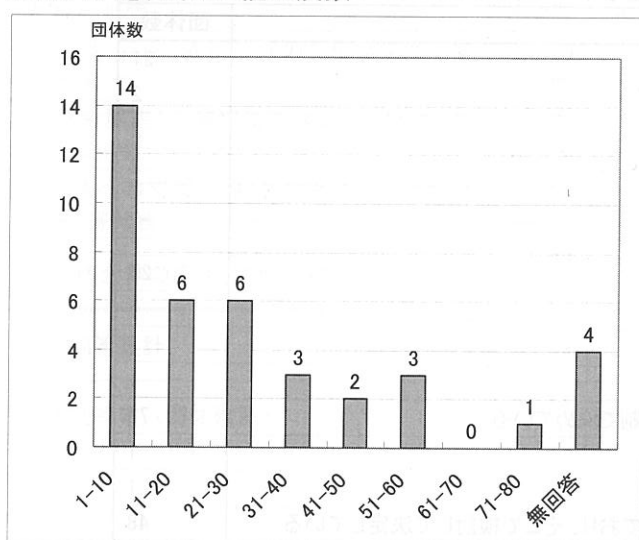
【図表 A-6-2】ステージ数 0-100 の内訳



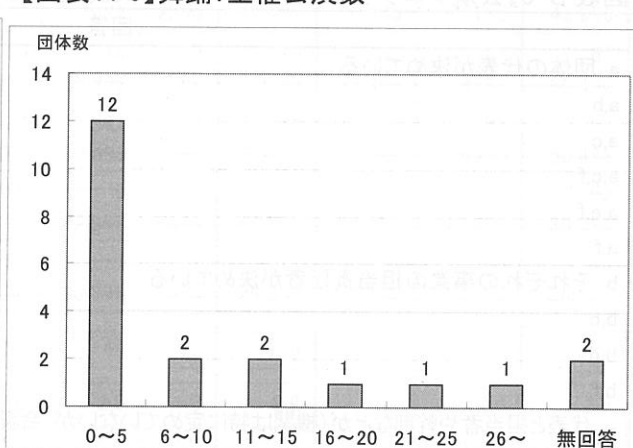
【図表 A-7】演劇:主催公演数



【図表 A-8】音楽:主催公演数

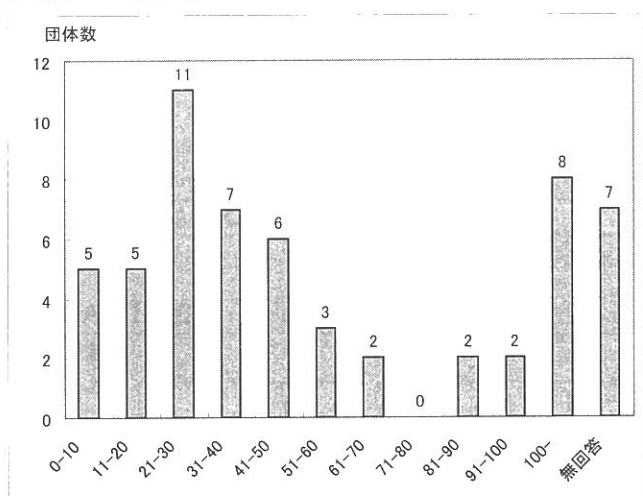


【図表 A-9】舞踊:主催公演数



B. 組織、集団のあり方について

【図表 A-10】劇場・ホール：主催公演数



【図表 B-1】貴団体は、どのような組織または集団ですか？

回答	団体数	割合
a 代表や構成員が変わっても、継続的に存続していく組織である	138	69%
b 創立者や現在の代表など、核になる人物がいる限り継続していくであろう組織である	53	27%
c 組織としての継続性については、あまり意識していない	4	2%
d 組織というよりは、個人アーティストの活動を行うために形成されている、ゆるやかな集団である	4	2%
総計	199	100%

【図表 B-2】法人格を持っている組織と別に、劇団、楽団などの構成員からなる芸術組織がありますか？

回答	団体数	割合
a 実演家等が規約やそれに類するものをもった組織を任意団体として別に構成している	33	24%
b 芸術団体として、任意団体の名称は法人格のある組織以外に別にあるが、規約等は特にない	10	7%
c 法人格をもった組織以外に、構成員からなる組織は存在しない	97	69%
総計	140	100%

【図表 B-3】公演プログラムの計画内容は、実質的にはどうやって決められていますか？

回答	団体数
a 団体の代表が決めている	21
a,b	2
a,c	2
a,c,f	2
a,e,f	1
a,f	1
b それぞれの事業の担当責任者が決めている	23
b,c	1
b,d	1
b,f	1
c 代表と担当者や幹部などが(機関は特に定めていないが)合議制で決めている	73
c,d	1
c,f	1
d 企画を決める委員会や幹事会など、少人数の機関を設置しており、そこで検討して決定している	48
d,e	1
e 団体総会が意思決定機関なので、総会で徹底的に議論して決めている。	11
f メンバーが少数なので何となく合議制で決まる	12
総計	202

C. 事業を遂行するための役割、機能について

【図表 C-1】事業遂行の強み(複数選択、3つまで)

	演劇	音楽	舞踊	演芸	劇場・ホール	その他 ほか	総計	芸術 団体
a 公演を制作する機能	49 71%	34 87.2%	17 81%	3 75%	35 60.3%	8 72.7%	146 72.3%	103 77.4%
b 将来の創作活動に向けてリサーチしたり、外部の人材と相談したりする機能	24 34.8%	17 43.6%	11 52.4%	0 0%	27 46.6%	5 45.5%	84 41.6%	52 39.1%
c 営業・宣伝(観客ひとり、ひとりに向けてのチケット販売)	13 18.8%	3 7.7%	5 23.8%	1 25%	17 29.3%	2 18.2%	41 20.3%	22 16.5%
d 営業・宣伝(依頼公演の主催者を増やすための)	11 15.9%	5 12.8%	1 4.8%	0 0%	4 6.9%	1 9.1%	22 10.9%	17 12.8%
e 資金調達(公演協賛スポンサー獲得、助成金獲得等)	10 14.5%	5 12.8%	6 28.6%	0 0%	6 10.3%	0 0%	31 15.3%	21 15.8%
f 団体への支援獲得(賛助会員、支持会員獲得、寄付者)	8 11.6%	10 25.6%	2 9.5%	0 0%	3 5.2%	1 9.1%	24 11.9%	20 15%
g 団体全体の広報、イメージアップ	9 13%	14 35.9%	5 23.8%	0 0%	24 41.4%	4 36.4%	56 27.7%	28 21.1%
のべ回答数計	124	88	47	4	116	21	404	263
平均回答数(団体数計)	1.8 (69)	2.3 (39)	2.2 (21)	1 (4)	2 (58)	1.9 (11)	2 (202)	2 (133)

※芸術団体は演劇、音楽、舞踊、演芸の合計。以下同じ。

【図表 C-2】事業遂行の弱み(複数選択、3つまで)

	演劇	音楽	舞踊	演芸	劇場・ホール	その他 ほか	総計	芸術 団体
a 公演を制作する機能	6 8.7%	2 5.1%	0 0%	0 0%	15 25.9%	1 9.1%	24 11.9%	8 6%
b 将来の創作活動に向けてリサーチしたり、外部の人材と相談したりする機能	19 27.5%	12 30.8%	4 19%	2 50%	5 8.6%	3 27.3%	45 22.3%	37 27.8%
c 営業・宣伝(観客ひとり、ひとりに向けてのチケット販売)	33 47.8%	19 48.7%	4 19%	1 25%	24 41.4%	4 36.4%	85 42.1%	57 42.9%
d 営業・宣伝(依頼公演の主催者を増やすための)	29 42%	20 51.3%	14 66.7%	3 75%	18 31%	3 27.3%	87 48%	67 50.4%
e 資金調達(公演協賛スポンサー獲得、助成金獲得等)	33 47.8%	20 51.3%	11 52.4%	3 75%	24 41.4%	6 54.5%	97 48%	67 50.4%
f 団体への支援獲得(賛助会員、支持会員獲得、寄付者)	27 39.1%	14 35.9%	9 42.9%	2 50%	26 44.8%	6 54.5%	84 41.6%	52 39.1%
g 団体全体の広報、イメージアップ	22 31.9%	16 41%	7 33.3%	1 25%	17 29.3%	3 27.3%	66 32.7%	46 34.6%
のべ回答数計	169	103	49	12	129	26	488	333
平均回答数(団体数計)	2.4 (69)	2.6 (39)	2.3 (21)	3 (4)	2.2 (58)	2.4 (11)	2.4 (202)	2.5 (133)

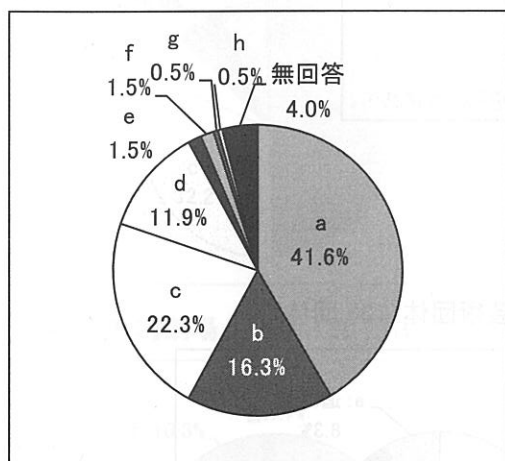
【図表 C-3】強化したい機能(1つのみ選択)

	演劇	音楽	舞踊	演芸	劇場・ホール	その他	総計	芸術団体
a 公演を制作する機能	5 7.2%	1 2.6%	1 4.8%	0 0%	8 13.8%	1 9.1%	16 7.9%	7 5.3%
b 将来の創作活動に向けてリサーチしたり、外部の人材と相談したりする機能	7 10.1%	1 2.6%	2 9.5%	0 0%	7 12.1%	0 0%	17 8.4%	10 7.5%
c 営業・宣伝（観客ひとり、ひとりに向けてのチケット販売）	12 17.4%	6 15.4%	2 9.5%	0 0%	16 27.6%	1 9.1%	37 18.3%	20 15%
d 営業・宣伝（依頼公演の主催者を増やすための）	12 17.4%	4 10.3%	2 9.5%	0 0%	0 0%	5 45.5%	23 11.4%	18 13.5%
e 資金調達（公演協賛スポンサー獲得、助成金獲得等）	18 26.1%	12 30.8%	8 38.1%	2 50%	12 20.7%	3 27.3%	55 27.2%	40 30.1%
f 団体への支援獲得（賛助会員、支持会員獲得、寄付者）	7 10.1%	9 23.1%	3 14.3%	0 0%	4 6.9%	1 9.1%	24 11.9%	19 14.3%
g 団体全体の広報、イメージアップ	5 7.2%	5 12.8%	2 9.5%	2 50%	7 12.1%	0 0%	21 10.4%	14 10.5%
回答数計	66	38	20	4	54	11	193	128
無回答	3	1	1	0	4	0	9	5
団体数計	69	39	21	4	58	11	202	133

D. 教育普及的な活動について

問5) 貴団体では、「公演」以外に、あらゆる人々に芸術に触れる多様な機会、きっかけを提供するような教育普及的活動について、どうされていますか？

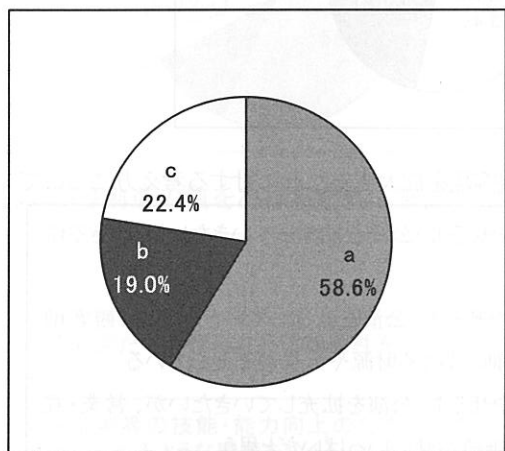
【図表 D-1】総計(202 団体)



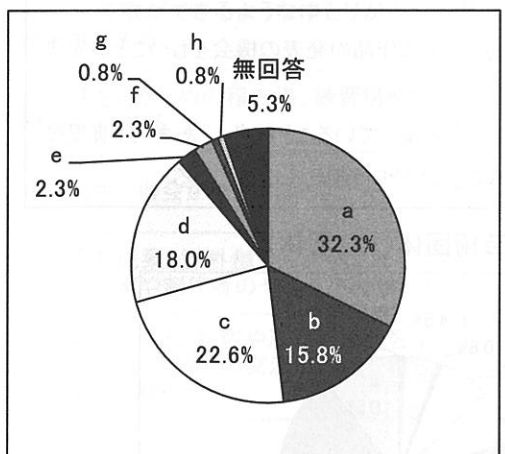
<凡例>

- a 重要だと思うので積極的に行っている
- b 重要だと思うが、財源や人材の面で限界があり、十分にはできていない
- c 重要だと思うが、公演が中心なので、バランスをみてできる範囲で行っている
- d 公演中心だが、依頼があればやっている
- e やってみたいと思うが、どのようにしたらよいのか分からない
- f 青少年、ファミリー向け公演という形で次世代への関わりがあるので、「公演」以外の活動まで広げていない
- g 自分の組織は作品創造に集中するのが本分だと思うので、必要ない
- h そういう活動については、よく分からない

【図表 D-2】劇場・ホール(58 団体)



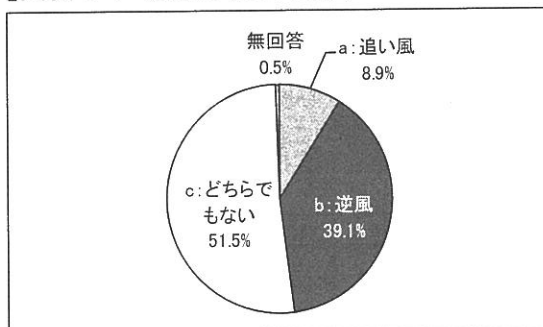
【図表 D-3】芸術団体(133 団体)



E. これからの運営についての考え方

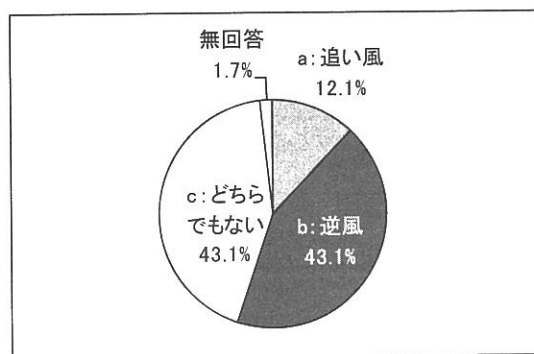
問6) 貴団体を取りまく世の中の状況は、貴団体の活動に対してどのようなと考えますか？

【図表 E-1-1】総計(202 団体)

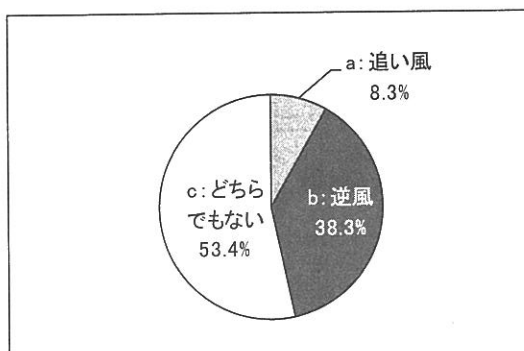


- a 追い風である
- b 逆風である
- c 追い風でも逆風でもない

【図表 E-1-2】劇場・ホール(58 団体)

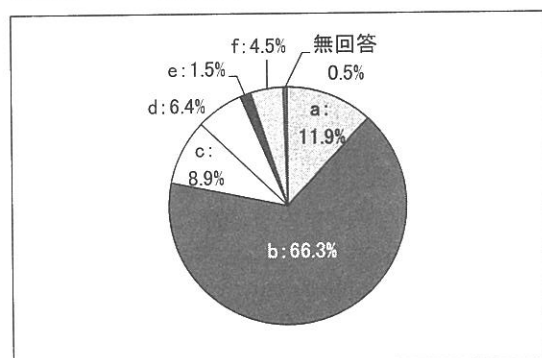


【図表 E-1-3】芸術団体(133 団体)



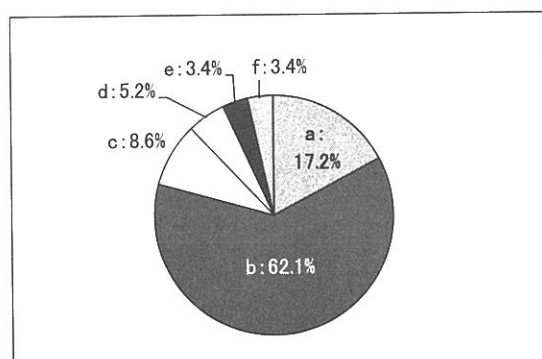
問7) 公演規模(回数や公演地の多様さ)を増やして総ステージ数、総観客数を拡大することに対する考え方について

【図表 E-2-1】総計(202 団体)

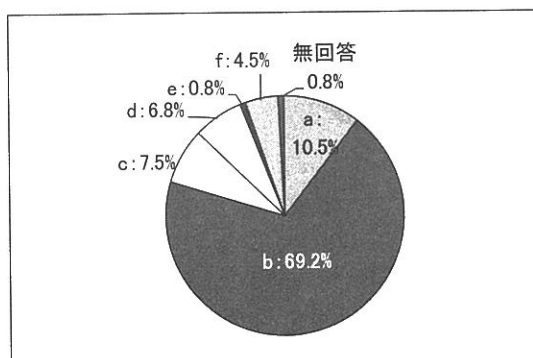


- a 総観客数を増やせるよう公演を拡充していきたいし、できる環境にあると思う
- b 総観客数を増やせるよう公演を拡充していきたいが、観客増の営業・宣伝活動にあてる財源や人材が不足している
- c 総観客数を増やせるよう公演を拡充していきたいが、営業・宣伝できても現状維持がせいっぱいだと思う
- d 観客数の増減より、公演機会を継続的に持つことができればよいと考えている
- e 観客数の増減より、まずは作品の発表の機会をもつことが先決と考えている
- f 構成員が他の仕事と兼業していることが多く、あまり公演規模を拡大することができないという制約を抱えている

【図表 E-2-2】劇場・ホール(58 団体)

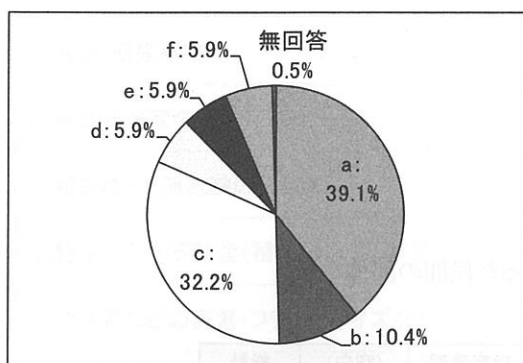


【図表 E-2-3】芸術団体(133 団体)



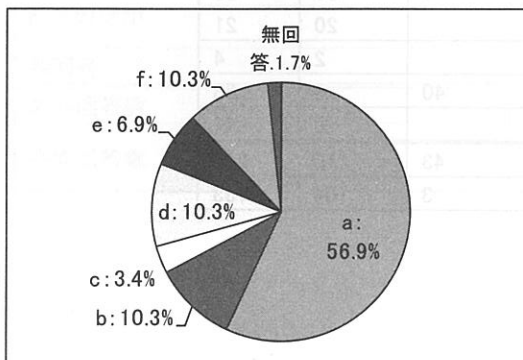
問8) 収入を増やすことができたなら、最も優先してやりたいこと

【図表 E-3-1】総計(202 団体)

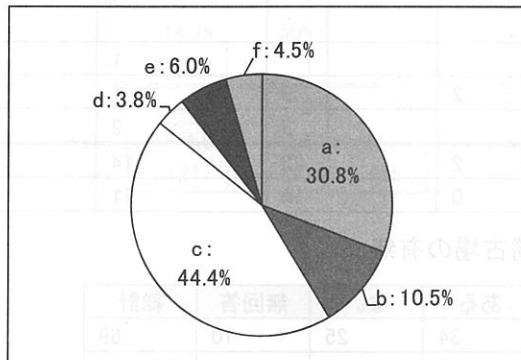


- a 制作や営業・広報に専念できるよう、人材を増やしたい
- b 実演家や技術スタッフ、プランナーなど、創造に関わる人材を増やしたい
- c 出演者や制作の報酬をあげたい
- d 創造環境をよくするためのハード面に投資したい
- e 将来の創作へのソフト面で、リサーチなど先行的な活動をしていきたい
- f そのほか

【図表 E-3-2】劇場・ホール(58 団体)



【図表 E-3-3】芸術団体(133 団体)



【図表 F】創造の質をあげるために重要だと思うこと

	演劇	音楽	舞踊	演芸	劇場・ホール	その他	総計	芸術団体
a 芸術家たちの報酬など活動条件をよくすること	57 83.8%	25 64.1%	14 66.7%	4 100%	16 29.1%	5 45.5%	121 61.1%	100 75.8%
b 実演家等の技能・能力向上のための研修が受けられるような環境をつくる	29 42.6%	7 17.9%	4 19%	1 25%	11 20%	2 18.2%	54 27.3%	41 31.1%
c 長期的に、先々の創造活動のためのリサーチや充電ができるようなゆとりがもてる環境を用意する	25 36.8%	12 30.8%	6 28.6%	0 0%	27 49.1%	7 63.6%	77 38.9%	43 32.6%
d 創造を行うための稽古場、練習場所などの環境をよくする	24 35.3%	16 41%	7 33.3%	2 50%	30 54.5%	1 9.1%	80 40.4%	49 37.1%
e 公演する機会が増えること	22 32.4%	15 38.5%	11 52.4%	3 75%	19 34.5%	5 45.5%	75 37.9%	51 38.6%
f 公演の成果が、外部から評価されるような形で芸術家や制作者のやる気を刺激する	21 30.9%	12 30.8%	6 28.6%	1 25%	28 50.9%	3 27.3%	71 35.9%	40 30.3%
g 芸術家たちと、観客や潜在的に観客になるかもしれない人々との交流の機会を増やしてやる気を刺激する	7 10.3%	12 30.8%	7 33.3%	1 25%	21 38.2%	4 36.4%	52 26.3%	27 20.5%
のべ回答数計	185	99	55	12	152	27	530	351
平均回答数	2.7 (68)	2.5 (39)	2.6 (21)	3.0 (4)	2.8 (55)	2.5 (11)	2.7 (198)	2.7 (132)

※無回答(演劇1、劇場・ホール3)は団体数計から除いた。

【図表G-1】上演施設の所有・専有

分野	ある	ない	無回答	総計
演劇	20	41	8	69
音楽	6	33		39
舞踊	1	20		21
演芸	2	2		4
劇場・ホール	52	2	4	58
その他	6	5		11
総計	87	103	12	202
芸術団体	29	96	8	133

*劇場・ホールで「ない」という回答は、年度の途中で委託関係がなくなった民間の団体など

【図表 G-1-2】所有・専有上演施設の詳細

分野	*	所有	賃貸で専有	無償で専有	指定管理	(空白)	総計
演劇		10	6	2	2	49	69
音楽			4	1	1	33	39
舞踊				1		20	21
演芸			1	1		2	4
劇場・ホール	2	9	1		40	6	58
その他		3	2	1		5	11
総計	2	22	14	6	43	115	202
芸術団体	0	10	11	5	3	104	133

【図表 G-2-1】稽古場の有無

分野	ある	ない	無回答	総計
演劇	34	25	10	69
音楽	12	27		39
舞踊	18	3		21
演芸	1	3		4
劇場・ホール	31	16	11	58
その他	5	4	2	11
総計	101	78	23	202
芸術団体	65	58	10	133

【図表 G-2-2】所有・専有稽古場の詳細

分野	指定管理	所有	賃貸で専有	無償提供	なし	無回答	総計
演劇		12	19	2	35	1	69
音楽			9	3	27		39
舞踊		9	7	1	3	1	21
演芸			1		3		4
劇場・ホール	6	20		3	27	2	58
その他		3	2		6		11
総計	6	44	38	9	101	4	202
芸術団体	0	21	36	6	68	2	133

【図表 G-2-3】稽古場・上演施設兼用スペース

分野	所有	賃貸で専有	無償提供	なし	*	総計
演劇	10	9	3	47		69
音楽		3	3	33		39
舞踊	1	1		19		21
演芸			1	3		4
劇場・ホール	13	2	3	38	2	58
その他	3	2	1	5		11
計	27	17	11	145	2	202
芸術団体	11	13	7	102	0	133

【図表 H】公演以外の事業

	演劇	音楽	舞踊	演芸	劇場・ホール	その他	総計	芸術団体
a 養成・研修事業	30 44.1%	15 38.5%	15 71.4%	2 50%	30 54.5%	8 72.7%	92 46.5%	62 47%
b 所属実演家のマネジメント	21 30.9%	4 10.3%	3 14.3%	0 0%	4 7.3%	1 9.1%	33 16.7%	28 21.2%
c 稽古場・上演施設の貸し出し	17 25%	1 2.6%	4 19%	2 50%	41 74.5%	2 18.2%	67 33.8%	24 18.2%
d 駐車場など不動産(稽古場以外)の貸し出し	3 4.4%	0 0%	0 0%	0 0%	6 10.9%	0 0%	9 4.5%	3 2.3%
e 飲食業などの直営・フランチャイズなど	1 1.5%	0 0%	1 4.8%	0 0%	2 3.6%	0 0%	4 2%	2 1.5%
f 関連グッズ(Tシャツ、CD、資料など)物販	17 25.0%	13 33.3%	7 33.3%	4 100%	9 16.4%	5 45.5%	33 16.7%	41 31.1%
g その他	8 11.8%	4 10.3%	3 14.3%	2 50%	2 3.6%	4 36.4%	13 6.6%	17 12.9%
無回答	14	8	4	1	11	1	39	
のべ回答数	97	37	33	10	94	20	251	177
平均回答数	1.4 (68)	0.9 (39)	1.6 (21)	2.5 (4)	1.7 (55)	1.8 (11)	1.3 (198)	1.3 (132)

回答は統計的に処理し、各団体の回答を個別に公表するようなことは致しません（調査研究の趣旨などにつきましては、送り状をご参照ください）。（2008年1月18日までにFAXにてご返信ください）

A. 団体基礎情報

A. 団体基礎情報					
法人格	a 株式会社 f 協同組合	b 有限会社 g そのほかの法人格（ ）	c 財団法人 d 社団法人	e 特定非営利活動法人	i 個人事業主
結成年 (西暦で)		法人格を取得した年 (西暦で)			
分野	a 演劇	b 音楽	c 舞踊	d 演芸	e 劇場・ホール f その他()
昨年度(H18年度)の年間総公演回数実績(*作品数ではありません)	数字をご記入ください(主催公演と依頼公演を含む。) *ただし、オケの場合、小人数の出前演奏などは除く およそ _____ ステージ (うち、主催公演は _____ ステージ)				
専従者の人数 (報酬が支払われている者で、所属しているだけの構成員ではありません)	a 有償の常勤者の人数 _____ 人 *貴団体が報酬を払っていない無報酬の常勤者がいたら、その人数は _____ 人 b 非常勤の人数 _____ 人				
所属するメンバー (構成実演家等)	(劇団員、楽団員などを) _____ 人				
公演地について	a 本拠地公演中心(所在地のある都道府県内) b 本拠地公演および近隣の都道府県内で公演・巡回活動を行っている c 全国的に公演活動を展開している d 海外公演中心である				
海外公演について	a 定期的に計画的に行っている b 不定期で行っている c 1度も経験がない				

B. 組織、集団のあり方について

問1) 貴団体は、どのような組織または集団ですか？ 次の中から最も相応しいものに○をつけてください。

- a 代表や構成員が変わっても、継続的に存続していく組織である
- b 創立者や現在の代表など、核になる人物がいる限り継続していくであろう組織である
- c 組織としての継続性については、あまり意識していない
- d 組織というよりは、個人アーチストの活動を行うために形成されている、ゆるやかな集団である

問2) 法人格がある団体に伺います。法人格を持っている組織とは別に、劇団、楽団などの構成員からなる芸術組織がありますか？

- a 実演家等が規約やそれに類するものをもった組織を任意団体として別に構成している
- b 芸術団体として、任意団体の名称は法人格のある組織以外に別にあるが、規約等は特にない
- c 法人格をもった組織以外に、構成員からなる組織は存在しない

問3) 公演プログラムの計画内容は、実質的にはどうやって決められていますか

- a 団体の代表が決めている
- b それぞれの事業の担当責任者が決めている
- c 代表と担当者や幹部などが（機関は特に定めていないが）合議制で決めている
- d 企画を決める委員会や幹事会など、少数数の機関を設置しており、そこで検討して決定している
- e 団体総会が意思決定機関なので、総会で徹底的に議論して決めている。
- f メンバーが少数なので何となく合議制で決まる

C. 事業を遂行するための役割、機能について

問4) 公演事業を継続していくためには、集客をしたり、主催者となる団体に働きかけたり、支援者などの支持を獲得することが必要です。貴団体で、次の選択肢のうち、比較的できている、強みだと思われる役割・機能3つまでに○を、弱いと思っている役割・機能3つまでに×をつけてください。

また、今後、最も補強したいと考えている機能に◎1つをつけてください。

強い機能 (3つまで○を)	弱い機能(3つまで×を)	最も補強したい機能 (1つだけに◎を)	公演を成立させるための役割・機能
			a 公演を制作する機能
			b 将来の創作活動に向けてリサーチしたり、外部の人材と相談したりする機能
			c 営業・宣伝(観客ひとり、ひとりに向けてのチケット販売)
			d 営業・宣伝(依頼公演の主催者を増やすための)
			e 資金調達(公演協賛スポンサー獲得、助成金獲得等)
			f 団体への支援獲得(賛助会員、支持会員獲得、寄付者)
			g 団体全体の広報、イメージアップ

D. 教育普及的な活動について

問5) 貴団体では、「公演」以外に、あらゆる人々に芸術に触れる多様な機会、きっかけを提供するような教育普及的活動について、どうされていますか? もっとも当てはまる選択肢に○を

- a 重要だと思うので積極的に行っている
- b 重要だと思うが、財源や人材の面で限界があり、十分にはできていない
- c 重要だと思うが、公演が中心なので、バランスをみてできる範囲で行っている
- d 公演中心だが、依頼があればやっている
- e やってみたいと思うが、どのようにしたらよいのか分からない
- f 青少年、ファミリー向け公演という形で次世代への関わりがあるので、「公演」以外の活動まで広げていない
- g 自分の組織は作品創造に集中するのが本分だと思うので、必要ない
- h そういう活動については、よく分からない

E. これからの運営についての考え方

問6) 貴団体を取りまく世の中の状況は、貴団体の活動に対してどのようなと考えますか? 最も近いものに○を

- a 追い風である
- b 逆風である
- c 追い風でも逆風でもない

問7) 公演規模(回数や公演地の多様さ)を増やして総ステージ数、総観客数を拡大することに対する考え方について(1つだけに○を)

- a 総観客数を増やせるよう公演を拡充していきたいし、できる環境にあると思う
- b 総観客数を増やせるよう公演を拡充していきたいが、観客増の営業・宣伝活動にあてる財源や人材が不足している
- c 総観客数を増やせるよう公演を拡充していきたいが、営業・宣伝できても現状維持がせいっぱいだと思う
- d 観客数の増減より、公演機会を継続的に持つことができればよいと考えている
- e 観客数の増減より、まずは作品の発表の機会をもつことが先決と考えている
- f 構成員が他の仕事と兼業していることが多く、あまり公演規模を拡大することができないという制約を抱えている

問8) 収入を増やすことができれば、最も優先してやりたいことに○を1つだけつけてください。

- a 制作や営業・広報に専念できるよう、人材を増やしたい
- b 実演家や技術スタッフ、プランナーなど、創造に関わる人材を増やしたい
- c 出演者や制作の報酬をあげたい
- d 創造環境をよくするためのハード面に投資したい
- e 将来の創作へのソフト面で、リサーチなど先行的な活動をしていきたい
- f そのほか 具体的に()

F. 創造の質をあげるために

問9) 創造の質をあげるために、どのようなことが重要だと思いますか？ 重要だと思うこと3つまでに○を

- a 芸術家たちの報酬など活動条件をよくすること
- b 実演家等の技能・能力向上のための研修が受けられるような環境をつくる
- c 長期的に、先々の創造活動のためのリサーチや充電ができるようなゆとりがもてる環境を用意する
- d 創造を行うための稽古場、練習場所などの環境をよくする
- e 公演する機会が増えること
- f 公演の成果が、外部から評価されるような形で芸術家や制作者のやる気を刺激する
- g 芸術家たちと、観客や潜在的に観客になるかもしれない人々との交流の機会を増やしてやる気を刺激する

問10) 構成員のモチベーションを高くする、高く維持するために行っていることがあったら具体的にお書きください

スペースが足りない場合は、別紙でご返信を！

G. 創造・公演のための施設の所有・専有状況

創造・公演のための施設の所有・専有状況について	ア) 上演施設	イ) 稽古場（上演施設に向かない空間）
	- a ない - b ある - i 所有している - ii 賃貸契約で専有している - iii 契約ではば無償で専有している - iv 自治体設置の施設の指定管理を受けている	- a ない - b ある - i 所有している - ii 賃貸契約で専有している - iii 他から無償提供を受けている
		ウ) 稽古場・上演施設兼用として
		- i 所有している - ii 賃貸契約で専有している - iii 他から無償提供を受けている

H 公演以外の事業

公演以外の事業で行っているものがあつたら○をつけてください	- a 養成・研修事業 - b 所属実演家のマネジメント - c 稽古場・上演施設の貸出 - d 駐車場など不動産（稽古場以外）の貸出 - e 飲食業などの直営・フランチャイズなど - f 関連グッズ（Tシャツ、CD、資料など）物販 - g そのほか（ ）
-------------------------------	--

I 今年度の公的支援の採択実績

貴団体が、H19年度、採択されている支援事業、助成制度に○をつけてください	- a 文化庁・芸術創造活動重点支援事業 - b 文化庁・芸術拠点形成事業 - c 文化庁・国際芸術交流支援事業 - d 文化庁・芸術団体人材育成支援事業 - e 本物の舞台芸術体験事業（学校公演） - f 舞台芸術の魅力発見事業 - g 舞台芸術振興事業 - h 芸術文化振興基金・現代舞台芸術創造普及活動 - i 芸術文化振興基金・伝統芸能の公開活動 - j 芸術文化振興基金・先駆的・実験的芸術創造活動 - k 芸術文化振興基金・芸術の国際交流活動 - l そのほか（主だった支援機関名）
団体名	

なお、書ききれないご意見等は、FAX またはEメールで、別途お寄せください。Eメール research@geidankyo.or.jp

ご協力ありがとうございました。